



防災対策

ゲリラ豪雨に負けない 冠水被害ゼロを目指して

市街地の冠水対策に着手！ 雨水排水対策事業

予算 7,500 万円

国補助 3,500 万円	地方債 4,000 万円
-----------------	-----------------

道路の冠水対策として、雨水排水対策工事を行います。市街地におけるバイパス管の実設計及び地質調査が完了したため、今年度より工事に着手し、平成 32 年度の完成を目標に整備を進めます。

総事業費 10 億円のうち
5 億円は国の補助金を活用予定
市街地及び上小橋及び陽光台の冠水エリアの冠水対策を進めています。



H32 年度完成予定
バイパス管の設置
約 4 億円



H34 年度完成予定
調整池の設置
約 6 億円

具体的な避難計画を作成 広域避難プロジェクト事業

予算 1,165 万円

国補助 220 万円	県補助 20 万円	ふるさと納税 925 万円
---------------	--------------	------------------

昨年度実施した減災調査研究の結果を踏まえ、行政区ごとに具体的な避難計画やタイムラインを作成し、さらに住民の避難行動を示した「洪水逃げどきマップ」を策定します。

町の持ち出し 0 円!

移住定住

子育て世代へ向けて 良好な居住環境の確保

北関東初！ PFI 方式による定住促進住宅 地域優良賃貸住宅整備事業 (PFI)

予算 2 億 9,126 万円

国補助 2 億 7,199 万円	地方債 1,920 万円	町の負担 7 万円
---------------------	-----------------	--------------

子育て世帯の優良な居住環境を確保し、町外からの移住・定住を促進するための PFI を活用した定住促進住宅の建設。昨年度建設の「アイレットハウス」に続く 2 か所目の PFI 住宅を建設します。 →詳しくは 12 ページへ

建設・維持管理費
町の持ち出し 0 円!

環境整備

世界に先駆けた 水素社会を目指して

環境にやさしい水素エネルギーを活用 水素エネルギー推進事業

予算 488 万円

ふるさと納税 488 万円

今後の水素社会実現を見据え、境町内及び近隣自治体とも連携した水素ステーションや水素自動車の利活用を推進します。今年度中に、一般の方への給水素や水素自動車の貸し出しが実現予定です。

ふるさと納税を
活用

NEWS 境古河 IC 周辺地区 土地区画整理組合が設立

5 月 12 日 (土)、境古河 IC 周辺地区土地区画整理組合設立総会が開催され、全議案とも可決承認されました。町では、雇用の確保、税収の確保という 2 つの目的のために取り組んできました。今後は、組合と大和ハウス工業株式会社との業務代行契約を経て、用地取得、造成工事等に着手予定です。



企業誘致

インターチェンジ周辺の企業誘致、 地域経済の活性化に向けて

抜群のアクセスや立地環境を最大限に生かして 境古河 IC 周辺地区土地区画整理事業

予算 3 億 750 万円

上水道	町の負担 1 億円		
下水道	国補助 6,500 万円	下水道の 50% は 国の補助金を活用	町の負担 6,500 万円
道路	地方債 6,970 万円	90% 地方債	ふるさと納税 780 万円

平成 29 年 2 月の圏央道全線開通により、観光や流通など、様々な面で開通効果が現れている。インターチェンジ周辺において、周辺開発と企業誘致を推進し、道路、上下水道、公園などの整備を進めます。今年度は、上下水道及び、区画道路の一部及び水路の一部新設を行います。なお開発の規模については、地区全体の面積は 24.6ha で、主に物流系企業の進出を予定しています。

教育の充実

未来を担う子どもたちへ 一歩先行く教育を！

フィリピン講師 17 名が全小中学校で英語教育開始！ スーパーグローバルスクール事業

ふるさと納税から 6 年分 6 億円を積み立て完了！

予算 9,394 万円

ふるさと納税 9,394 万円

フィリピン共和国より英語講師を招き、グローバル人材の育成及び実践的な最先端の英語教育に取り組んでいます。前年度は境小をモデル校として実施しましたが、今年度は講師を 17 名に増やし、全小中学校で実施されています。

ふるさと納税を
活用

1 日 45 分の英語教育の費用は？

塾に通うと
月額約 3 万円

公立学校なら
町が全額負担



児童一人当たり
2~3 千円の費用を
町が全額負担！

塾に通わなくても
毎日英語が学べる！
家計にもやさしい！

商工観光

中心市街地の 活性化に向けて

TOPICS 1

空き家対策

増加傾向にある空き家等の課題を検討する組織として、「境町空家等総合対策協議会」を新設し、空き家等の活用のための費用を補助する事業を引き続き実施し、解消に取り組みます。

TOPICS 2

中小企業支援

中小企業者の経営の安定と必要な資金の貸付を行うことにより、中小企業の経営基盤の強化とその振興発展のため、制度金融の斡旋に努めます。



ふるさと納税を 活用 10% お得 なクーポン券！ ふるさとクーポン券事業

予算 2,000 万円

ふるさと納税 2,000 万円

昨年度 5 日で完売！ 好評を受け、今年度も引き続き 10% お得になる「ふるさとクーポン券」を発行します。



地場産品等を使って新商品を開発 地場産品研究開発拠点整備事業

予算 2 億円

国補助 1 億円	地方債 1 億円
-------------	-------------

農産物や畜産物などの地場産品を使った新商品の開発や加工、販売を行う施設を建設し、中心市街地の活性化や事業者の売上・所得のアップを目指します。

人材育成やプロモーション活動を実施 街なか賑わい創出事業

予算 400 万円

国補助 200 万円	ふるさと納税 200 万円
---------------	------------------

全国各地で街なかの活性化に成功している方をアドバイザーとして招き、賑わいを取り戻していくための人材育成や PR 活動を行い、中心市街地の活性化を図ります。

ふるさと納税を
活用

境の歴史・文化・芸術、町の魅力を届ける 河岸のまち活力再生プロジェクト事業

予算 7,490 万円

国補助 3,745 万円	地方債 2,240 万円	ふるさと納税 1,505 万円
-----------------	-----------------	--------------------

河岸のまちとして、境町の歴史文化や町に関わりの深い文化人の文化財等を観光資源として磨き上げ、歴史、文化、芸術等を見学するまちかどギャラリーの建設等、観光地域づくりを推進します。

町の持ち出し 0 円!

NEWS

沖繩へ中学生を アルゼンチンへ小学生を派遣！

未来を担う子ども達を育成するため、8 月に沖縄県国頭村に町内中学生 20 名を派遣します。国頭村は、道の駅の友好交流協定を締結 (6 ページで紹介) した場所です。子ども達が沖縄の歴史や文化を肌で感じ、沖縄の中学生とのコミュニケーションを図るなど、ふだんの生活と異なる経験をすることを目的としています。また、町と国際友好交流を図っているアルゼンチン (2 ページで紹介) へ、町内小学生 10 名を派遣予定です。この派遣事業は、境町とアルゼンチンとのつながりをより深め、豊かな国際感覚を持つ児童を育成するために、平成 28 年度より実施され、今年度で 3 度目の実施となります。



予算と主な事業